

文京区コミュニティバス「Bーぐる」 運行事業の概要



1 運行目的

区の拠点間を結び、公共交通不便地域（※）を解消することにより、区民等の利便性を高める。
また、病院・福祉施設、観光・文化施設、商業地域を結ぶことで、人の動きを活発にし、地域の魅力や活力を引き出す。

※ 既存鉄道駅又はバス停から半径 200m 以遠の地域

2 運行事業者

日立自動車交通株式会社

3 運行形態

バス運行事業者の自主運行（区は事業経費の一部補助や調査・広報等の側面的支援を実施）

4 運行時間

20 分間隔のパターンダイヤにより運行（平日、土・日、祝日とも同じ。別添「Bーぐるマップ」時刻表のとおり）

5 運賃設定

共通 100 円（利用者 1 人に同伴する幼児（1 歳～就学前児）は 2 人まで無料（3 人目から通常料金）。乳児（0 歳）は無料。乗車券は以下のとおり）

- ・ 一日乗車券 300 円
- ・ 普通回数券（11 枚綴り） 1,000 円
- ・ 時差回数券（13 枚綴り） 1,000 円
- ・ 一ヶ月定期券 3,000 円

6 各ルート基本情報

- 千駄木・駒込ルート（4 台運行）
 - ・ 運行距離：11.48km
 - ・ 停留所：35 所（「6 ラクーア」が起終点）
 - ・ 所要時間：70 分
 - ・ 運行車両：日野ポンチョ（36 人乗り（運転士含む。)) ※平成 27 年 11 月車両変更
それまでは、エアロミディ ME（34 人乗り（運転士含む。))
- 目白台・小日向ルート（4 台運行）
 - ・ 運行距離：10.74km
 - ・ 停留所：32 所（「1 文京シビックセンター（春日駅前）」が起終点）
 - ・ 所要時間：65 分
 - ・ 運行車両：日野ポンチョ（36 人乗り（運転士含む。)) ※令和 2 年 9 月車両更新

7 事業経過

平成 19 年 4 月 26 日	千駄木・駒込ルート運行開始
平成 20 年 4 月	千駄木・駒込ルート一部路線変更 「巣鴨駅南」(現「本駒込六丁目」)バス停新設
平成 21 年 4 月	千駄木・駒込ルート「白山上」「富士神社前」バス停新設 「白山下」バス停乗継方法変更
平成 23 年 11 月	千駄木・駒込ルート起終点を「ラクーア」に変更
平成 23 年 12 月 21 日	目白台・小日向ルート運行開始
平成 24 年 8 月	「こんにやくえんま」バス停新設
平成 27 年 4 月	ルート間の乗り継ぎ無料化開始
平成 27 年 11 月	千駄木・駒込ルート バス車両の変更
令和 2 年 9 月	目白台・小日向ルート バス車両の更新

8 区が行っている側面的支援

(1) 運行事業補助金・車両購入補助金

バスの安定的な運行のため、バス運行事業者に対して補助金を交付している。

(2) Bーぐる沿線協議会の運営

Bーぐるの利便性の向上や安定的運営等に関する事項について協議を行う組織。公募委員、学識経験者、関係団体等からの推薦者など 17 名程度の委員で構成（年 3 回程度開催）

また、公募委員を中心とした企画会議により、利用促進のための様々な活動を行っている。

(3) Bーぐるマップの作成

令和 2 年度現在、年 2 回（4 月、10 月）発行（4 月号 5 万部、10 月号 4 万部）

ルート図、ダイヤなどの基本的情報のほか、沿線地域の協力店や観光施設の割引サービスの情報を掲載している。

2016 年 4 月版より、英語版も作成

(4) 「+ワン！」サービスなどの実施

沿線地域の店舗と協力し、回数券・一日乗車券・1ヶ月定期券の利用者に対して、区内の協力店や浴場組合加盟銭湯で様々な特典やサービスを受けることができる。

また、一日乗車券については、区内観光・文化施設の入場料金の割引サービスを受けられるほか、集めた使用済み一日乗車券を限定記念品と交換するサービスを行っている。

(5) 協賛企業・団体の募集

地元企業や団体を募集し、地域貢献活動の一環としての協賛金をコミュニティバスの運行支援に充てている。

令和 3 年 3 月末現在、9 企業 4 大学に参加していただいております。区も地元企業の立場で協賛を行っている。

(6) その他広報・周知活動

区ホームページや区報、CATV などを活用し、必要に応じて広報・周知活動を行っている。

9 乗車実績

○ 千駄木・駒込ルート

年度	乗車人数 (人)	運行日数 (日)	一日平均乗車人数 (人)	バス1台当たり一日乗車人数(人)
19年度	386,292	339	1,140	285
20年度	496,343	365	1,360	340
21年度	509,564	365	1,396	349
22年度	509,959	365	1,397	349
23年度	523,958	366	1,432	358
24年度	492,186	365	1,348	337
25年度	488,657	365	1,339	335
26年度	502,758	365	1,377	344
27年度	501,409	366	1,370	343
28年度	505,211	365	1,384	346
29年度	495,794	365	1,358	340
30年度	484,034	365	1,326	332
元年度	487,564	365	1,336	334
2年度	336,314	365	921	230
累計	6,720,043	5,086	1,321	330

※ 平成19年4月26日運行開始。

19年度は、4月28日からの集計（4月26・27日は無料乗車のため集計には含まれない。）
令和元年度の運行日数は、台風による計画運休日数（1日）を除外して算出。

○ 目白台・小日向ルート

年度	乗車人数 (人)	運行日数 (日)	一日平均乗車人数 (人)	バス1台当たり一日乗車人数(人)
23年度	69,197	100	692	173
24年度	331,309	365	908	227
25年度	381,557	365	1,045	261
26年度	419,679	365	1,150	288
27年度	444,483	366	1,214	304
28年度	443,779	365	1,216	304
29年度	445,973	365	1,222	306
30年度	449,469	365	1,231	308
元年度	439,811	365	1,205	301
2年度	301,174	365	825	206
累計	3,726,431	3,386	1,101	275

※ 平成23年12月21日運行開始。

23年度は、12月23日からの集計（12月21・22日は無料乗車のため集計には含まれない。）
令和元年度の運行日数は、台風による計画運休日数（1日）を除外して算出。

【参考】公的支援のあり方

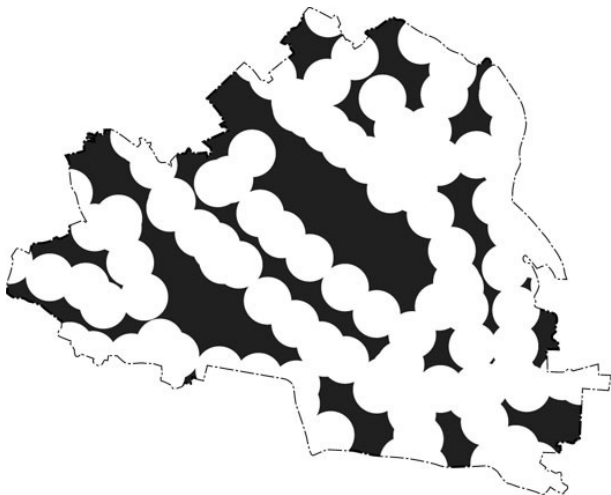
B-ぐるは、バス運行事業者の自主運行を基本とし、区は調査・広報等の側面的支援及び補助金の交付を行っている。バス事業者が持続的にバス事業を行うためには採算性を高めることが重要である。

また、区が公的支援を続けるために以下のような公的支援の目安を設定し、運行開始から一定期間を経過しても、条件を満たさない場合は、以後の公的支援の継続について検討する。

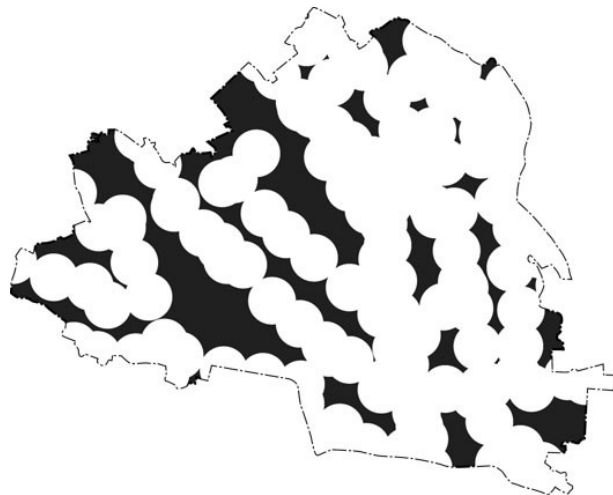
『バス1台に対し、1日300人の乗車が見込めること』又は『営業収入が車両償却費を除いた経常経費の75%以上であること』

10 公共交通不便地域の変化

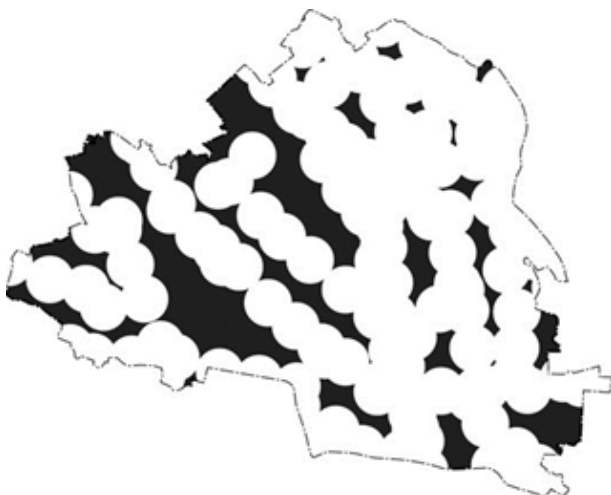
<1> 千駄木・駒込ルート開業前 (31.5%)



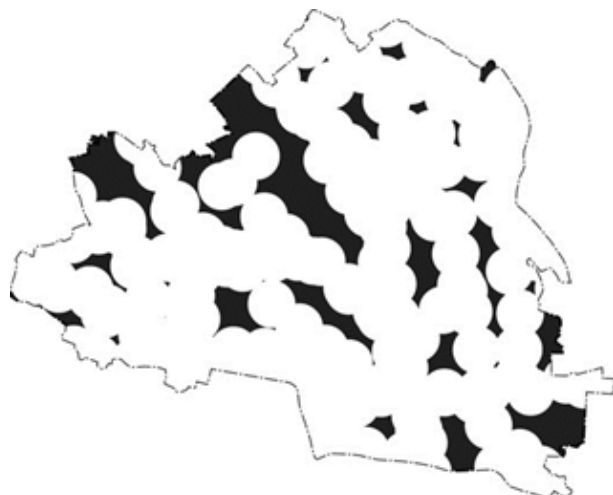
<2> 千駄木・駒込ルート開業後 (24.1%)



<3> 千駄木・駒込ルート路線変更後 (23.2%)



<4> 目白台・小日向ルート開業後 (16.3%)



※ () 内は、全区に占める公共交通不便地域の割合